

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年4月19日

事業所名 プロスペール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	60%	40%	環境構成を常に行っております。また、整理・整頓・清掃・清潔・ルールをしております。	限られた場所を有効に使えるように、環境構成をしております。
	2	職員の配置数は適切である		100%	適切な配置になるよう努力しております。	ひとり1人の負担にならないように、日々話し合いを行っております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	60%	40%	適切に配慮されています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	90%	10%	毎日、ミーティングでの情報共有を行っています。また、事例検討を行っています。	普段からお子さんの様子をよく見ることや一緒に取り組む機会を増やすようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	60%	40%	日頃から保護者の方々とのやり取りを通して、保護者の方々の意向やご希望を伺っています。	個別面談を定期的に行い、スタッフ間での情報共有を行っております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	60%	40%	毎年、自己評価表と保護者向け評価表の結果や評価内容をホームページで公開しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10%	80%	第三者による外部評価は、行っておりません。	外部評価については、検討はしていますが、実施まで至っておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	90%	10%	社会福祉協議会主催の研修を中心に、参加の機会を確保しております。	支援につながる質の向上を目指し、事業所のカラーに合わせた研修を検討しております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%		児発管が、お子さんや保護者様のご希望やこれからのことを踏まえて、いま必要なことを計画書に盛り込んでおります。	普段からお子さんや保護者様とのやり取り、スタッフからの報告を受けたうえで、お子さんの計画書に盛り込んでおります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	60%	40%		事業所のアセスメントシートでの評価を行っております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	90%	10%	立案は、責任者が確認、内容の情報共有を行っております。	責任者の指示のもとスタッフ間の立案を行っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	90%	10%	お子さんの成長に合わせた活動しております。	事業所のアセスメントシートでの評価を行っております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%		ご利用内容(時間帯等)に応じて、細やかな支援ができるようにしております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%		通常日は、個別活動、長期休暇の期間は、集団活動を言うようにしております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		ミーティングで前日の出来事を踏まえて、本日の支援内容の打ち合わせを行っております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	60%	40%	当日の活動は、次の日のミーティングの中の情報共有を行っております。	その日の大事な情報は、情報共有するようにします。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	60%		気になるケースは、検討会議を行っております。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%		児発管が、いま必要なことを定期的に計画書に盛り込んでおります。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%		長期休暇のような一日活動を行うときに、検討組み合わせを行っております。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%		児発管が、お子さんのこと、保護者のことをよく理解し、精通しているので参画しております	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%		特に、学習面などは、どのように進めていくかなど、学校の担任や保護者の方と打ち合わせを行っております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	60%	10%	保護者の方を通して、主治医との連絡等を行うように、しております。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%		日頃からの保護者とのやり取りで、お子さんの将来について話し合い、就学相談と一緒に参加するようにしております。また、進学先の学校との情報共有を行い、新年度を迎えるようにしております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	90%		求めに応じて、準備しております。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	60%	10%	研修のお知らせを行ってるときは、積極的に参加するようにしております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	10%	90%	現在、交流等の計画はありません。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	45%	45%	日時が合うときは、参加するようにしております。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		保護者様と日頃、連絡ツールを通して、情報共有をしております。	定期的な面談実施を行います。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	60%	10%	保護者の方々には、日ごろの連絡を取る中で、必要に応じて、支援相談を行っております。	勉強会を検討はしているもの実施に至っておりません。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	90%		御利用を開始するときに、ご説明をさせて頂いております。また、変更やご相談があるときに、ご説明しております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		御利用を開始するときに、ご説明をさせて頂いております。また、変更やご相談があるときに、ご説明しております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10%	90%	現在、計画されていません。	保護者の方々からの要望に応じて、対応していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		保護者様と日頃、連絡ツールを通して、情報共有をしております。また、情報共有できる部分は、スタッフと行い連携ができるようにしております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	90%	10%	今のところ、会報を発行しておりません。	保護者の方々には、LINEでの連絡等で、お伝えしております。
	35	個人情報に十分注意している	100%		児発管が、情報を管理、必要な部分を判断して、情報共有を行っております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	90%	10%	お子さんに合わせた、伝達ツールを利用したり、保護者とのこまめなやり取りを行い、情報のすり合わせを行っております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10%	90%	地域との触れ合う機会はありません。	お子さんや保護者の皆様の必要性に応じて、対応していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	90%	10%	年間を通して、定期的な訓練、勉強会を開催しています。	保護者への定期に、お伝えしてまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	90%	10%	年間を通して、定期的な訓練、勉強会を開催しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		毎年、管理者、職員交互に研修に参加しております。また、年に数回の事業所内研修を行っております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	90%		身体拘束については、保護者との話し合いで、お子さんの情緒や場面の聞き取りを行い、安全のほかり方を十分に説明し承しております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	90%		保護者の方を通して、主治医の指示を確認できるように、しております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	90%	10%	毎日、ミーティングを通して、ケースを話し合い、情報共有を行っております。	